



# 第6号

2019. 2. 23

エコビレッジ交流センター

風の館 さかのくち

「風だより」という独自の新聞があったことを、覚えていらっしゃる方はおられるだろうか？

越前市坂口地区に、市の環境学習施設「エコビレッジ交流センター」が開所したのは、平成十三年四月、しばらくして、オリジナルの新聞を作り出した。「風だより」という題名は、公募して決めさせて頂いた。

開所のひと月後に発足した地元の子どもたちの環境グループ「坂口エコメイト」の活動報告や、ゴミ問題、有害鳥獣問題と、地域の環境問題から地球温暖化問題と幅広く書かせていただいた。

その後、ずっと休刊状態だったのだが、最近、また復活したらどうかという声が上ががり、無理をしない程度に書くことにした。お付き合いの程、よろしくお願ひしたい。



2月2日(土) 13:30~  
里山の冬を見つけよう



2月2日(土) 9:30~  
かんじきを作ろう

## 講座の 一コマ



1月27日(日) 9:30~  
かきもちを作ろう

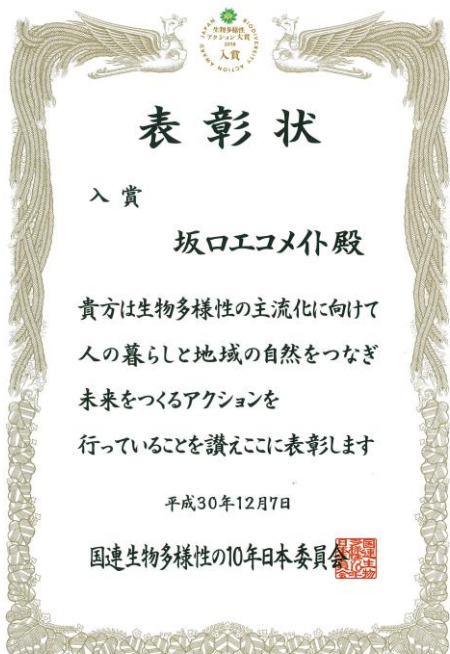
地元の幼稚園から、中学三年生まで登録している「坂口エコメイト」が、国連生物多様性の10年日本委員会が主催する「生物多様性アクション大賞」に入賞することができた。これは、子どもたちの頑張りや地元の振興会、環境部会の協力と学校の理解を頂いて続けてきた活動が認められたものだ。

また、来月に開催される「こどもエコクラブ全国フェスティバル2019」

「9」に福井県代表で参加できるということも、喜ばしい限りだ。

環境活動は、一、二年で成果が出るものではない。息の長い活動だ。「坂口の自然を守り、保全していこう、生きものを見つめていこう」という子どもたちの取組みは、十年二十年、いや、もつと先に成果が出るのかも知れない。

未来の子どもたちに何が残せるだろうか？



## 表彰状

入賞

坂口エコメイト殿

貴方は生物多様性の主流化に向けて人の暮らしと地域の自然をつなぎ未来をつくるアクションを行っていることを讃えここに表彰します

平成30年12月7日

国連生物多様性の10年日本委員会